

2024 年度 特別支援学校の震災後の対応事例を
基にした復旧・復興教育教材の開発調査研究

石川県内特別支援学校を対象とした
令和6年能登半島地震の状況に関する調査

石川県内特別支援学校を対象とした
令和6年能登半島地震後の学習内容や防災教育に関する調査

【 調査結果 】 (調査項目参考資料)

2025 年 7 月

特別支援学校の震災後の対応事例を基にした災害教育教材の開発調査研究グループ

はじめに

2024 年 1 月 1 日に令和6年能登半島地震が起こり、今現在も復興に向けて様々な取り組みがなされている。学校では水道水が飲めなかったり、給食室の被災により給食の提供ができなかったりと震災後の避難生活や、ライフライン、スケジュールの変更など、震災後の生活が余儀なくされている状況であった。これらの経験から、長期間続く震災後の対応やそのための教育が必要であることを感じた。しかし、震災後の対応に焦点をおいた教材は少なく、特別支援教育の視点を取り入れたものはほぼ見つからない。そこで、本研究では、特別支援学校の震災後の対応事例を基にした復旧・復興教育教材の開発を行うことを目的とすることにした。研究開始時の災害後の教育として「災害教育」の用語を使用していたが、研究を進めていく中で、災害後に焦点を置き、災害後に発生する、ライフラインの復旧や、避難所等における生活、地域再建の過程等の復興について知り、災害後の生活等における見通しや、災害後の行動に関することを学ぶ教育と定義づけ「復旧・復興教育」の用語を設定し、研究に取り組んできた。

本調査結果は、石川県内の特別支援学校を対象とした、震災後の石川県内特別支援学校における状況や、対応事例を調査した結果を報告するものである。

本調査結果執筆時においても石川県内は復旧・復興段階であり、特別支援学校においても、震災後の対応を行っている状況である。本研究においてまとめられた、本調査結果や、復旧・復興教育実践事例、復旧・復興教育スライド型素材、本調査結果を基にした研究等が、石川県内の特別支援学校をはじめ、他地域の特別支援学校において活用いただければ幸いである。

最後に、本研究の実施にあたりご協力をいただきました、石川県特別支援学校校長会、石川県特別支援学校副校長・教頭会、石川県内特別支援学校等の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

2025 年 7 月 31 日

特別支援学校の震災後の対応事例を基にした復旧・復興教育教材の開発調査研究グループ
研究代表 新谷 洋介(金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科 教授)

第1章 調査研究の概要

1. 研究目的と概要

本調査は、震災後の石川県内特別支援学校における状況や、対応事例を整理しまとめることを目的とした。調査結果をまとめることで、令和6年能登半島地震における、震災後の石川県内特別支援学校の状況がまとめられ、さらに、震災後の対応事例から、日常生活で学ぶべき事柄の資料となる。このことは、復旧・復興教育の視点で日常生活の学習をすることに加え、日常生活の学習から、復旧・復興教育の視点に目を向ける考えにも繋がることが期待できると考えている。

2. 研究組織

新谷 洋介(金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科 教授・代表研究者)
柳川 公三子(金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科 講師)
奥田 鉄人(金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科 教授)
川井 久也(石川県立七尾特別支援学校・珠洲分校・輪島分校 校長 2024 年度/
石川県立明和特別支援学校 校長 2025 年度)
土佐 智美(石川県立七尾特別支援学校・珠洲分校・輪島分校 校長)
杉江 哲治(石川県立いしかわ特別支援学校 校長・石川県特別支援学校校長会 会長)

3. 調査内容

(1) 令和6年能登半島地震の状況に関する調査①②

実施者:新谷 洋介(金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科 教授)

(2) 令和6年能登半島地震後の学習内容や防災教育に関する調査

実施者:西田 叶夢(金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科 4 年 2024 年度/
金沢大学大学院教職実践研究科教職実践高度化専攻 1 年 2025 年度)
新谷 洋介(金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科 教授)

本調査は、石川県教育委員会事務局学校指導課特別支援教育グループへ調査実施の説明および経過報告を行いながら実施した。また、石川県特別支援学校校長会の協力のもと実施した。

4. 調査対象特別支援学校(2024 年度)

視覚障害

石川県立盲学校(小学部、中学部、高等部、専攻科)

聴覚障害

石川県立ろう学校(小学部、中学部、高等部)

知的障害・肢体不自由

石川県立明和特別支援学校(小学部、中学部、高等部)

石川県立いしかわ特別支援学校(小学部、中学部、高等部)

肢体不自由

石川県立瀬嶺特別支援学校(小学部、中学部、高等部)

知的障害

石川県立錦城特別支援学校(小学部、中学部、高等部)

石川県立小松特別支援学校(小学部、中学部、高等部)

石川県立七尾特別支援学校(小学部、中学部、高等部)

石川県立七尾特別支援学校輪島分校(小学部、中学部、高等部)

石川県立七尾特別支援学校珠洲分校(小学部、中学部、高等部)

病弱

石川県立医王特別支援学校(小学部、中学部)

知的障害(国立)

金沢大学付属特別支援学校(小学部、中学部、高等部)

5. 付記

本調査研究は、公益財団法人 日本生命財団 2024 年度児童・少年の健全育成助成「実践的研究助成」：特別支援学校の震災後の対応事例を基にした災害教育教材の開発（研究代表 新谷洋介）により助成を受け実施した。

本研究における「復旧・復興教育」の定義

災害後に焦点を置き、災害後に発生する、ライフラインの復旧や、避難所等における生活、地域再建の過程等の復興について知り、災害後の生活等における見通しや、災害後の行動に関することを学ぶ教育

新谷洋介・西田叶夢・柳川公三子(2025), 特別支援学校の震災後の対応事例を基にした災害教育教材の開発, 日本教育工学会研究報告集, 2025, 2025 巻, 2 号, p.55-58

調査項目（参考情報）

【石川県内特別支援学校を対象とした令和6年能登半島地震の状況に関する調査①】

1. 目的
2. 方法
 - (1) 本調査の対象
 - (2) 調査時期
 - (3) 調査方法
 - (4) 調査項目
3. 調査結果
 - 3-1 回答者等
 - (1) 回答数
 - (2) 回答者の担当
 - (3) 回答いただく障害部門
 - 3-2 校舎や教室等の被害状況
 - (1) 次の施設等の震災後直近の使用可否について、該当するものを選択してください。教室が複数ある場合は被害が大きな教室について回答してください。
 - (2) 次の施設等の始業日時点の使用可否について、該当するものを選択してください。教室が複数ある場合は被害が大きな教室について回答してください。
 - (3) 始業日時点で全面使用不可の教室・施設について、教室名、11月1日時点での使用開始月を箇条書きで記入してください。なお、特別教室等については、音楽教室、家庭教室等、該当する全ての教室について回答してください。
 - (4) 震災後直近における学校のライフラインについて、該当するものを選択してください。
 - (5) 始業日時点における学校のライフラインについて、該当するものを選択してください。
 - (6) 始業日時点で全面使用不可のライフラインについて、ライフライン名、11月1日時点での使用開始月を箇条書きで記入してください。
 - (7) 震災前に予定していた3学期始業日を記入してください。
 - (8) 実際の3学期始業日を記入してください。
 - (9) 始業日以降の日課変更はありましたか。
 - (10) 始業日以降に日課変更をした場合の、通常日課復旧日を記入してください。

【石川県内特別支援学校を対象とした令和6年能登半島地震の状況に関する調査②】

1. 目的
2. 方法
 - (1) 本調査の対象
 - (2) 調査時期
 - (3) 調査方法
 - (4) 調査項目

3. 調査結果

3-1 回答者等

- (1) 回答数
- (2) 回答者の担当
- (3) 回答いただく障害部門

3-2 震災に関する対応

- (1) 震災の対応を開始した日付を回答してください。
- (2) 震災当日(震災直近に対応した日)、地震や津波などに関する災害情報などはどのような手段で収集しましたか。(複数回答可)
- (3) 災害情報などの収集に有効であった手段は何ですか。(複数回答可)
- (4) 震災当日(震災直近に対応した日)、関係機関との連絡は、どのような手段で行いましたか。(複数回答可)
- (5) 震災当日(震災直近に対応した日)に被害状況等を連絡した関係機関を回答してください。(複数回答可)
- (6) 震災後に学校の復旧や再開をするために連携をした関係機関を回答してください。(複数回答可)

3-3 情報発信の方法

- (1) 学校における震災に関連する情報(保護者等を対象とする学校の状況)をどのように発信したか回答してください。(複数回答可)
- (2) 学校から発信した震災に関連する情報の内容を回答してください。(複数回答可)

3-4 安否確認の方法

- (1) 教職員(複数回答可)
- (2) 児童生徒(複数回答可)

3-5 児童生徒の在籍状況

- (1) 2024年1月1日～2024年3月31日の期間の転校状況。
- (2) 2024年4月1日～2024年7月31日の期間の転校状況。
- (3) 2024年1月1日～2024年3月31日の期間の転入状況。
- (4) 2024年4月1日～2024年7月31日の期間の転入状況。

3-6 重点目標について

- (1) 震災後(2024年度)の災害に関する重点目標について(複数回答可)
- (2) 災害に関する重点目標を回答してください。

【石川県内特別支援学校を対象とした令和6年能登半島地震後の学習内容や防災教育に関する調査】

1. 目的

2. 方法

- (1) 本調査の対象
- (2) 調査方法
- (3) 調査時期
- (4) 調査項目

3. 調査結果

3-1 回答者等

- (1) 回答数
- (2) 回答者の担当
- (3) 回答いただく障害部門
- (4) 回答いただく学部

3-2 防災訓練について

- (1) 学校において実施した防災訓練の内容について、震災前に実施したもの、震災後に実施したもの、それぞれ該当するものをすべて選択してください(複数回答可)。
- (2) 学校において実施した防災訓練の内容について、震災前に実施したもので、地震、津波、大雨・洪水、土砂崩れ、火災、以外の内容がありましたら記述してください。
- (3) 学校において実施した防災訓練の内容について、震災後に実施したもので、地震、津波、大雨・洪水、土砂崩れ、火災、以外の内容がありましたら記述してください。
- (4) 学校において実施した防災訓練の設定時間について、震災前に実施したもの、震災後に実施したもの、それぞれ該当するものをすべて選択してください(複数回答可)。
- (5) 防災訓練の告知について、震災前に実施したもの、震災後に実施したもの、それぞれ該当するものをすべて選択してください(複数回答可)。
- (6) 防災訓練の避難場所の設定について、震災前に実施したもの、震災後に実施したもの、それぞれ該当するものをすべて選択してください(複数回答可)。
- (7) 防災訓練の避難場所の設定について、震災前に実施したもので、校庭(グラウンド等)、学校の駐車場、体育館、校舎の最上階・屋上、高台(学校外)、公園(学校外)、寺社(学校外)、地域の指定避難所(学校外)、以外の内容がありましたら記述してください。
- (8) 防災訓練の避難場所の設定について、震災後に実施したもので、校庭(グラウンド等)、学校の駐車場、体育館、校舎の最上階・屋上、高台(学校外)、公園(学校外)、寺社(学校外)、地域の指定避難所(学校外)、以外の内容がありましたら記述してください。
- (9) 備蓄品に関することについて、震災前に実施したもの、震災後に実施したもの、それぞれ該当するものをすべて選択してください(複数回答可)。
- (10) 備蓄品に関することについて、震災前に実施したもので、備蓄品の保管場所の確認、備蓄品の使用について(非常食を除く、テントの設営等)、非常食の試食、以外の内容がありましたら記述してください。
- (11) 備蓄品に関することについて、震災後に実施したもので、備蓄品の保管場所の確認、備蓄品の使用について(非常食を除く、テントの設営等)、非常食の試食、以外の内容がありましたら記述してください。
- (12) 防災訓練の年間回数について、震災前に実施したもの、震災後に実施したもの、それぞれ該当するものをすべて選択してください(複数回答可)。
- (13) 避難訓練の年間回数をその他と選択した場合の年間回数を、震災前、震災後それぞれ記入してください。
- (14) 防災訓練の外部との連携について、震災前に実施したもの、震災後に実施したもの、それぞれ該当するものをすべて選択してください(複数回答可)。
- (15) 防災訓練の外部との連携について、震災前に実施したもので、消防署、消防団、自衛隊、地域の自治体や自主防災組織、近隣の学校、大学、専門学校等、企業、以外の内容がありましたら記述してください。
- (16) 防災訓練の外部との連携について、震災後に実施したもので、消防署、消防団、自衛隊、地域の自治

体や自主防災組織、近隣の学校、大学、専門学校等、企業、以外の内容がありましたら記述してください。

(17)「消防署」について、学校側から依頼したのか、消防署から連絡があったのか、震災前、震災後、それぞれ該当するものを選んでください。

(18)「消防署」との連携について、どのような連携をとっているのか、記述してください。

(19)「地域の自治体や自主防災組織」との連携について、学校側から依頼したのか、地域の自治体や自主防災組織から連絡があったのか、震災前、震災後、それぞれ該当するものを選んでください。

(20)「地域の自治体や自主防災組織」との連携について、どのような連携をとっているのか、記述してください。

(21)「近隣の学校」について、学校側から依頼したのか、近隣の学校から連絡があったのか、震災前、震災後、それぞれ該当するものを選んでください。

(22)「近隣の学校」との連携について、どのような連携をとっているのか、記述してください。

(23) 防災訓練の実施にあたり、震災後の実施状況はどのような形で実施していますか。

3-3 防災教育の指導内容

(1) 防災教育としてどのような内容の指導を行ってきましたか。震災前に実施したもの、震災後に実施したもの、それぞれ該当するものをすべて選択してください(複数回答可)。

(2) 防災教育としてどのような内容の指導を行ってきましたか。震災前に実施したもので、災害の発生の仕組み、地域で過去に発生した災害、地域で起こるとされている災害、災害からの身の守り方、災害の被災地での支援活動、避難所における生活、以外の内容がありましたら記述してください。

(3) どの教育場で防災教育を行いましたか。震災前に実施したもの、震災後に実施したもの、それぞれ該当するものをすべて選択してください(複数回答可)。

(4) どの教育場で防災教育を行いましたか。震災前に実施したもので、各教科、各教科等に合わせた指導(知的障害)、自立活動、道徳、総合的な学習の時間、学校行事などの特活、給食中、休み時間、以外の内容がありましたら記述してください。

(5) どの教育場で防災教育を行いましたか。震災後に実施したもので、各教科、各教科等に合わせた指導(知的障害)、自立活動、道徳、総合的な学習の時間、学校行事などの特活、給食中、休み時間、以外の内容がありましたら記述してください。

(6) 震災後に新たに実施した防災教育の内容について、記入例(10月・1年・保健体育・段ボールベットの利用)実施月・学年・教科・内容を箇条書きで記述してください。

(7) 震災後に新たに実施した防災教育の内容について、該当するものをすべて選択してください(複数回答可)。

3-4 今後の防災教育について

(1) 防災教育を行うに当たっての指導用教材の必要性について、それぞれ該当するものを選んでください。

(2) 防災教育に関連した教材の必要性について、それぞれ該当するものを選んでください。

(3) 今後取り組みたい防災教育の内容がありましたら記入をしてください。

(4) 震災の影響を受けた行事について、被害・影響期間(月単位)・学年・教科・内容をわかる範囲で箇条書きで回答してください。被害リスト:水道、電気、ガス、通信、建物・教室、机・椅子、教材・教具 など 記入例(体育館・1月～6月・1,2,3年・運動会・廊下等で競技内容を変えて実施した)

3-5 震災後の教育活動について

(1) 震災の影響を受けた授業について、被害・影響期間・学年・教科・内容をわかる範囲で箇条書きで回答してください。被害リスト:水道、電気、ガス、通信、建物・教室、机・椅子、教材・教具 など 記入例(水道・1月

～6月・1,2年・作業学習・ねんど等手を洗う活動)

(2) 震災の影響を受けたその他の教育活動等(給食含む)について、被害・影響期間・学年・教科・内容をわかる範囲で箇条書きで回答してください。被害リスト:水道、電気、ガス、通信、建物・教室、机・椅子、教材・教具 など 記入例(水道、電気、ガス・1月～4月・1,2,3年・給食・給食の提供ができず、弁当等の持参とした)

(3) 11月調査後の実践等、特記することがあれば記述をお願いします。

※ 「調査結果」報告書については、次の情報公開ページの最新情報をご確認ください。

支援機器・教材ポータル「復旧・復興教育」

<https://at-navi.tokubetsushien.com/wp/hukko/>